



議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査

受 総 第 2 4 号
平成 2 3 年 8 月 2 日

北栄町議会議長 池田 捷昭 様

北栄町長 松本 昭夫



議会報告会における参加者からの要望等について（回答）

平成 2 3 年 6 月 2 0 日付で通知のありましたこのことについて、要望に対する町としての回答を下記のとおりまとめましたので報告します。

記

（来庁者に対する職員対応について）

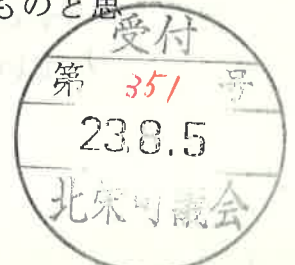
- ・ 事前に電話で来庁の旨を伝えていたにも関わらず担当者が不在で、対応した職員に「代わりにやって欲しい」と言ったら、「担当でないから分からない」と断られた。このような対応は、何年経っても変わっていないと感じる。役場職員の来客対応を徹底してほしい。

＝ 日ごろから全職員に対して、「相手の立場に立って考えるやさしさと思いやりを持ち、その温かい気持ちを形にして相手に伝えること」を基本に研修、指導等を行なっております。職員一人ひとりが町民全体に奉仕する北栄町役場の代表であることを再認識し、誠意をもって町民の方々に接する日々の積み重ねで町民の方々との信頼関係を一層深めていくよう心がけてまいります。

（自主防災組織について）

- ・ 昼間は住民の 7 ～ 8 割が不在のため、防災組織が機能しない。昼夜 2 体制にしたいが現実には不可能。町内 6 3 自治会はそれぞれ規模が違う中で、組織を結成しやすい工夫をしてほしい。

＝ 自主防災組織については、普段地域活動を共にしておられる自治会が一つの単位として組織されるのが好ましいと思います。組織作りの過程として、まず自治会で自主防災組織の役割や目的を話し合っただき、自治会でできることや目標を決めていただくことにより、必要な組織体制（〇〇部や〇〇班など）や平常時の訓練等活動内容が形作られてくるものと思います。



例えば、災害時に地区住民を安全に避難所に移動することのみを目標とした場合、自治会組織の一部として「防災部避難誘導班」を設けるなど、必要最小限のものとすれば良いと思います。

そして、自治会の総会等で結成の同意を得ていただき、活動内容や組織体制を記した簡単な規約をつくっていただいたら結構です。

あとは、日頃の訓練等により、災害が起きたときにすぐに行動ができるようにしておくことが最も重要です。

(青山剛昌ふるさと館について)

- ・水木しげるロードは神社・記念館など新しいものが次々増え、入館者増につながっている。企画力の差を感じる。
 - ①ふるさと館は平面的な展示が多い。1回入ったら次は行かない。
 - ②入館料が700円と高い。
 - ③国道9号線を走っていてもふるさと館看板が目立たない。
- ・ふるさと館だけでは入館者は増えない。役場からの道や駐車場を整備し、点から線の魅力ある地域に。投資が必要となるが、このままでは赤字を積み重ねるだけである。例えば、全天候型の迷路をつくるとか、アイデアを募るため住民を巻き込んだ委員会を立ち上げるなりするべき。
- ・境港と違って町民の盛り上がりとかサポートが全くない。地元民が行かないのに外から人を呼ぶことは無理である。建物壁面などを利用して広告スペースをつくり、企業スポンサー（サポーター）を求めたらどうか。

= 水木しげるロード・境港市の事例なども参考にしながら、今後青山剛昌ふるさと館の入館増、「コナン通り」の活性化のための取り組みを強化していきたいと考えています。そのためには、町民の皆様、地元関係者の皆様のご理解・ご活用が不可欠ですので、是非ご協力をいただくようお願いいたします。

まったく同じ内容では飽きられるため、青山剛昌ふるさと館では、展示の入れ替えや、切れ目なく催事を行うことにより、コナンファンやリピーターにも指示されるよう努力をしているところです。今後可能な範囲でリニューアルも行っていきたいと考えています。

入館料については、入館収入を確保する観点で今年度検討を行い、割引の試行・評価を行うことを考えています。

今年度、国道9号線沿いに看板3枚を設置する計画としています。

青山剛昌ふるさと館だけでなく、周辺でもっと楽しめる要素が必要であることはご指摘のとおりですが、現下の厳しい財政状況の中、多額の投資については、費用対効果の検討・評価、財源の確保など多くの問題があり、すぐには難しいのが実情です。当面なるべく費用のかからない方法で考えていく必要があります。

青山剛昌ふるさと館の周辺、コナン通りの観光振興については、境港市・水木しげるロードの例を引くまでもなく、まず、地元の盛り上がり、民間事業者（飲食店、売店等）の事業展開があることが必須です。北栄町観光協会とともに、地元への働きかけ、啓発に取り組みたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。将来的な構想については、地元の皆様にもご意見をいただき、相談しながら進めてまいりたいと思います。

青山剛昌ふるさと館の地元での認知も不十分であると思いますので、出前講座での説明、町報でのお知らせなどを通じて町内でもっと知っていただくための取り組みを強化していきたいと思います。

また、名探偵コナンなどの著作権使用の観点から、「企業スポンサー」の活用は困難ですが、「個人」としての協力、ボランティア活用など外部のご協力を得るための工夫を幅広く検討していきたいと思います。

（町民運動会について）

- ・町民運動会で何がしたいのか意図が見えて来ない。
 - ＝ 合併後、北栄町民が一堂に会し、スポーツを通じて仲間づくりあるいは親睦を図ることが目的です。昨年までは、スポーツレクリエーション祭で町民対象に様々な競技を各会場で行っていましたが、一体感がなく参加者の顔が見えにくいと言った反省点もあり、全自治会が一堂に会せる運動会を計画したものです。運動会は、バレーボールや、卓球などと言った参加者が限られてくる種目と違い、幅広い年齢層が参加できるという利点もあります。このような意図で計画していますので、趣旨をご理解いただき参加していただければと思います。
 - また、自治会への詳細な説明は、7月8日に開催しました自治会長、体育部長説明会で行ったところです。

（臨時職員の就労条件について）

- ・保育所・幼稚園の産休・育休の補充職員の対応について臨時職員ばかり。町報の職員系統図の「保育士」の一律表記は意図的なのか。給与条件を含め、就労条件を公平に。
 - ＝ 町報の職員系統図の「保育士等」の一律表記については、正規職員も臨時職員も同じ北栄町の職員であり、正規職員と臨時職員の区別は必要がないとの見解で表示しました。また、産休・育休職員の休暇・休業は、期間が定まっている関係上、正規職員での対応は難しく、臨時職員で対応を行っています。

(庁舎統合について)

・十分に検討していただくとともに、広域合併など将来的な視野で取り組んでほしい。住民も議論に参加できるようにしてほしい。

＝ 平成20年9月の本町行政改革プラン改訂において、北条庁舎の廃止・統合の検討が盛り込まれており、庁舎内での「庁舎のあり方検討委員会」を組織し、庁舎統合については、災害等危機対応、事務の非効率・維持管理費の問題、北条庁舎の耐震強度の不足などの理由から検討案を協議してまいりました。平成22年9月に議会に検討案を説明し、現在、議会で検討をいただいているところです。

議会の検討結果を待っているところではありますが、統合を進めるに当たっては、住民サービスの低下を招くことのないよう十分に考慮し、住民みなさんのご意見をいただきながら統合を行っていきたいと考えております。

(役場手続き窓口一覧について)

・過去に役場から配布されたことがあったが、高齢者が見やすい緊急の連絡先の一覧や、手続き先一覧をつくってほしい。社会的弱者が利用しやすいようなものがほしい。

＝ 合併当時には、役場各課の連絡先や各種手続きの窓口をお知らせする冊子を町民のみなさんへ配布しました。しかしながら、行政サービスの多様化に対応するため、常に体制の見直しを行い手続きの窓口となる各担当課も機構改革により課名や連絡先が変更されている状況です。この状況が今後も引き続くことが予想される中で新たな冊子を配布することは考えていません。

役場の各課の一覧は、毎年5月号町報の中の「役場職員系統図」でお知らせしているところです。この中で各課の担当業務や連絡先を確認していただくことができます。また、担当窓口が分からない、連絡先が分からないなどの場合には、迷われることなく役場の代表電話番号にかけて用件を伝えていただければ、それぞれの担当課へおつなぎしますのでご利用ください。